

警察の相談ダイヤル#九一一〇

事件・事故 緊急事案は一一〇番

味鋤交番管内はハザードマップを見ると全域で浸水の可能性が高い地域です。

# 避難時の注意点!

○避難するときは長靴は履かない

長靴に水が入ると重くなって足を動かしにくくなるため長ズボンにスニーカーがベター。

○冠水している場所に入らない

水深50cm程度で水圧により歩行が困難になり、転倒したり流される危険性がある。

○できるだけ2人以上で避難する

足元が見えないためマンホールの蓋が開いてたり側溝の境界が分からずに転落事故になる恐れがある。

# 味鋤交番だより

北警察署  
052-981-0110  
警察相談電話  
#9110

愛知県警察  
ホームページ



## 新川洗堰の概要

### ■天明の治水事業

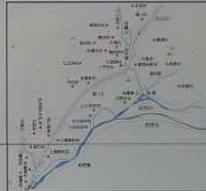
江戸時代の庄内川流域では大水害が頻出しました。これは流出土砂が河床に堆積し、河床が上昇したためといわれています。味鋤村から五条川までがもっとも水害がひどく、堤防の決壊による大被害で全村が移動したという記録もあります。

また、庄内川の河床の上昇により大山川などの支川の排水が悪くなり、庄内川右岸の地域（庄内川以北）は湿地化していきました。こうしたたまたま重なる庄内川右岸の破壊被害を防ぎ、湿地化を防ぐために計画されたのが新川の開き計画です。

工事は味鋤村内の庄内川右岸堤の一部低くし、ここに長さ40間の洗堰をつくって庄内川の水を分流し、大山川や五条川などを合流させて伊勢湾まで約20kmにおよぶ川を掘るというもので、天明4年(1784年)に着手し、天明7年(1787年)に完成したといわれています。そしてその費用は40万両にものぼり、藩全部の御蔵米を売却してもなお不足するほどの大金を要しました。工事は沿川数百ヶ村農民が加わり、200ヶ所の各地で一度に工事が開始されたと伝えられています。永年水害に苦しめられてきた沿川農民のひたむきな治水事業に対する願望が秘められているといえます。

洗堰はその後も回となく修理が行われ、今もその重要な役わりを果たしています。なお将来は庄内川の改修を進めることにより、新川への負担を軽減することとなっています。

### ■当時の地形



### ■現在の洗堰



国土交通省 庄内川河川事務所  
TEL 914-6711  
ホームページアドレス: <http://www.cbr.mlit.go.jp/shc/>

## 6月の検挙

(如意交番・味鋤交番)

万引き犯人1名

自転車盗犯人1名 を検挙

## 私の診断結果は”警察官・警察職員”

～愛知県警察官・警察職員募集～



## 県警からの広報

海、川、山の事故危険はいつもすぐそこに  
～ちょっとした注意や事前の準備が大切です～

防災は 日頃の備え 心がけ  
～必ず来る!その日のために～



## 災害はいつ訪れるか分かりません!

- ・非常持ち出し袋の準備、点検
- ・避難場所やその経路の確認
- ・災害時の家族との連絡方法や集合場所

等について日頃から家族で話し合い、決めておきましょう!